



實性

令和元年 第四号 秋彼岸発行

秋のお彼岸のご案内

世界の仏教国において「彼岸会」は日本独特の年中行事です。平安時代、敏達天皇が定められたのが始まりです。

私達は、日常生活、仕事にと忙しく暮らしております。自分を見つめなおし、ご両親、ご先祖様に思いをよせて、御仏の教えを実行するのはなかなか難しい現実です。「彼岸」は、そんな生活の中、せめて年に2回、春と秋の一週間ずつ、自分を見つめる時間をもつための期間です。

「彼岸」とは、私達の住む迷いの世界を「此岸（しがん）」、これに対し、迷いを離れた悟りの世界を「彼岸（ひがん）」といいます。人生を河にたとえ、悟りの向こう岸に渡るには、その急流、荒波・雑念・迷い等々の川を渡らなくてはなりません。その為には、己を見つめ、両親・家族・ご先祖に感謝し、そしてお念仏のみ教えに触れる一週間なのです。

秋分の日、日輪が真西に沈み、極楽浄土を示し、中夜を等しく分け、中道のさまを表しております。この修行の好期に、

ご先祖様へのご回向、ご両親への感謝、そして、ご自身の極楽浄土への往生のためにも、彼岸会法要にご家族お揃いでご参加賜りますようご案内申し上げます。

彼岸会法要

おちゆうにち
お中日



● 九月二十三日(祝・月) 午前十一時より

お彼岸入り 九月 二十日(木)

お彼岸中日 九月二十三日(月)

お彼岸明け 九月二十六日(水)

※お彼岸のお塔婆はお早めにお申し込みください。

本年も、七月、八月、両月盂蘭盆会法要が厳修されました。両月合わせて三百名様のご参加をいただきました。

法要では、「絵で見る日常勤行式」を檀信徒の皆様とご一緒にお唱えいたしました。

法要前には、客殿にてお抹茶を飲んでいただきました。お抹茶は、接客のお茶というよりは、法要にのぞみ、身と心を清めるためのものです。また、睡魔を防ぎ、空腹を抑え、法要に集中できるようにと飲むものです。このような意味合いで飲むお抹茶ですので、飲まれてから法要に参加されるように早めにお出かけください。

法要後には一洗会「心の暦」のポスター「合掌」についてお話させていただきました。



【合掌】

笑顔でおはよう
感謝でおやすみ

「合掌」すなわち手を合わせるということは、こぶしをにぎらない。また、平手を使わない。物（武器）を持たない非暴力を表す姿です。キリスト教の手を組むのも同意と意思です。左手は、自身の心を表し、右手は相手を表します。

相手は、お仏でもあり、父・母でもあり、ご先祖でもあり、目の前の人でもあります。手と手を合わせることは、自分と相手の心と心を通わせるということなのです。

仏教国で合掌にて挨拶するのも「あなた」と「わたし」の心と心を通して仲良くしたいとの意味でもあります。

また、食前、食後の「いただきます」「ごちそうさま」も生きるために食物（生物）への感謝の心です。

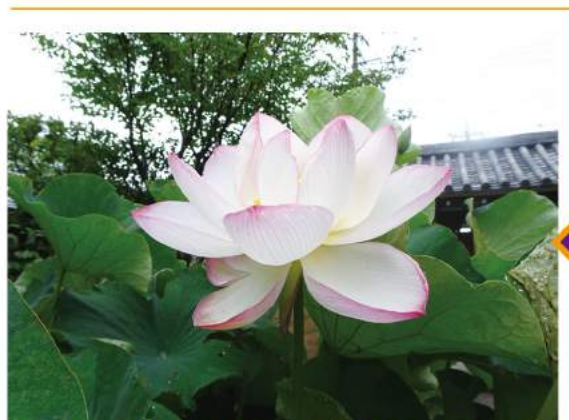
「笑顔でおはよう」も今日生かされる喜び、「感謝でおやすみ」も、今日一日生かされた感謝の意です。

手を合わせ「合掌」は清らかな心のはたらきです。

また、お念珠を手のした時には、心と心を通わせた両の手が触れぬよう両手に掛けます。そして、中指と中指をぴったりと合わせると、しっかりと手のひらが合わさります。中指と中指は、仲良く仲良くなりますようにとの意味もあるといわれています。



盂蘭盆会



蓮見の会

七月六日(土) 吉例の「蓮見の会」開催されました。

四十名様程のお客さまでしたが初めて實性寺においでになられた方もいらつしやいました。本年は天候不順にて、開花が遅くなっていました。その分八月下旬まで花が楽しめます。

仏教で一番大切な花、それが、蓮の花です。全ての仏様は蓮の花の台に乗られておいでです。浄土に往生すると、この蓮の掌に座るといわれています。

花はとても美しく、蓮の葉もまたすがすがしいものです。蓮の花を大事に思う一つに、蓮の花は清らかな水の中で育つのではなく、沼や田んぼのような泥の中で花を咲かせます。その美しい花は、汚れた水に触れることなく美しさを保ちます。経の一節に「如蓮華不着水」とあり、私共の心も同じようになりたいものです。

また、蓮の花は、花をつける前より種を宿しているとのこと、私共にも生前より善根の根が宿っています。その善の種を大切に育てましょう。

また、七月七日「七夕」にちなんだ書院飾り、お道具をご覧いただきました。蓮の葉に結んだ露で墨をすり、梶の葉に願い事を書いた故事にちなんだ飾りです。

「蓮見の会」では、普段なかなかご案内できないお茶室にて、抹茶を實性寺茶道部がおもてなしさせていただきました。



茶室路地を借景にした書院での飾り



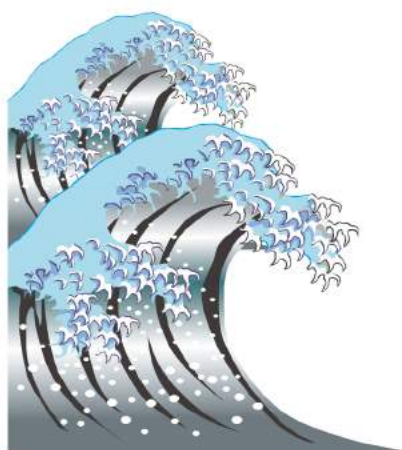
客殿床の間飾り



花入唐銅釣り舟



Jisyoji
Tea ceremony
Classroom



境内の
花
②



燭紅蓮



アメリカ白蓮



燭紅蓮

第二十回 實性寺寄席

實性寺寄席を左記のように開催致します。ご家族、ご近所、お知り合いの方など、お誘い合わせのうえご来寺ください。

日時 ▼ 十一月二十四日 (日)

開場 ▼ 午後五時三十分

開演 ▼ 午後六時

会場 ▼ 實性寺本堂

木戸銭 ▼ 六百元

開門・閉門時間

冬時間にともない開門・閉門時間を変更させていただきます。

十一月～二月まで

● 開門 午前七時

● 閉門 午後四時

ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

★ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込みください。お電話よりファックスの方が正確ですのでご利用ください。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出ください。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七ー十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

